

# ひろしまけん 交通指導員だより

2012.11  
第16号

発行：広島県環境県民局  
県民活動課  
(交通安全対策室)

現在「飲酒運転根絶宣言店」を募集しています！  
県民活動課（交通安全対策室）にお問合せください。

## 10月4日 交通指導員研修会を開催

10月4日、広島県庁講堂で交通指導員研修会を開催しました。参加者は市町・安全協会所管の指導員さんおよそ80名。

研修会では、西日本高速道路（NEXCO西日本）中国支部 水津氏による講義「高速道路の事故状況DRIVE&LOVE」、

福山市交通安全教育専門員による寸劇「まずまず元気な琴乃さん 自転車でお買い物に行く！」などの発表、県民活動課による「反射材パネル」、「飲酒ゴーグル」、「自転車シミュレーション」など交通安全教材の紹介がありました。

参加者の皆さんから、特に福山市の寸劇について、「セリフ・小道具が手作りで分かりやすい内容」「交通ルールの要所を押さえている」など好評でした。



自転車ワンポイント  
〈自転車でも飲酒運転！？〉

今年も早いものでもつ年の暮れ。忘年会など飲む機会も多いと思います。気をつけたいのがやはり飲酒運転です。自動車や二輪車では気を付けているという方でも、自転車であれば問題ないと思っている方もいるのでは？

実は、お酒を飲んで自転車も運転しても飲酒運転は成立します！  
酒酔い運転の場合、5年以下の懲役または100万円以下の罰金。  
つまり、自動車並みの罰金が適用されます。

飲んだら自転車にも乗らない！ 自転車でも飲みに行くな！NGです。



水津氏による講義  
(NEXCO西日本)



寸劇の発表  
(福山市)

# 交通豆知識

(第2回)

交通に関する豆知識をご紹介します。

## 幼児に対する安全指導のポイント

特に幼児は、車の基本的な機能や特性に関する知識を有していないことが要因となつて、危険行動をしがちです。

次に掲げる必要最小限の知識を指導することによつて、車の動きを予測し、警戒心を高めるとともに、危険を回避する能力を高めることができます。

### 【車の基本的な性能に関する指導事項】

- ① 車の速度【速い】  
(例) 時速40kmで1秒間に約11m走行
- ② 車の制動距離【止まらない】  
(例) 時速40kmで急ブレーキをかけても20m以上走行
- ③ 車の右左折・後退の合図  
ウィンカー・後退灯の意味と車の動きの予測
- ④ 車の死角・内輪差【車の側は危険】  
死角、内輪差の意味の理解と事故事例
- ⑤ 車のライトの性能【夜間は見えにくい】  
(例) 点灯しても30m先の歩行者が見える程度



## 止まる、見る、待つ習慣化

「安全な横断」を指導するに当たっては、止まる、見る、待つの手順に沿って、シンプルに指導することが大切です。

- ① 「止まる」必ず止まることを習慣付ける。
- ② 「見る」右、左という一定の手順で指導する。
- ③ 「待つ」通り過ぎるまで待つことを徹底する。

お知らせ 飲食店を対象に「飲酒運転根絶宣言店」を募集中です。詳しくは県民活動課まで(☎082-51312723)

# 年末交通事故防止県民総ぐるみ運動

☆実施期間

十二月十一日（火）～二十日（木）

☆運動の重点

「飲酒運転の根絶」

- 酒を飲んだら絶対車を運転しない。
- 車を運転する人にはお酒を勧めない。

「高齢者の交通事故防止」

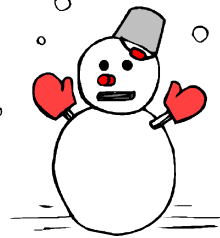
- 道路を渡る前には必ず周囲を確認しましょう。
- 高齢ドライバーに対しては、思いやりのある運転をしましょう。



年末交通事故防止県民総ぐるみ運動  
開始式及び飲酒運転根絶コンサート

12月11日（火）午後4時から

基町クレドふれあい広場で開始式と、  
警察音楽隊のコンサートが実施され  
ます。ご参加ください！！



「いざいざかならずかたにんきひんげ」

## 高速道路の事故防止ワンポイント！

高速道路事故の特徴

区分	発生件数	死者数	負傷者数
平成21年	215件	3人	452人
平成22年	223件	5人	392人
平成23年	196件	7人	325人

区分	発生件数	死者数	負傷者数
平成21年	285件	2人	402人
平成22年	234件	3人	309人
平成23年	211件	2人	290人

高速道路の事故は、上記のとおり、  
発生件数が、おおむね同じ件数の路線  
に比べて、**死者数、負傷者数が圧倒的  
に多い**のが特徴です。

高速道路走行の注意点

- ① 法定速度を守る
- ② 十分な車間距離をとる
- ③ 割り込みをしない
- ④ わき見運転はしない
- ⑤ 路肩走行はしない
- ⑥ 休憩をこまめにとる
- ⑦ 早めに給油する

高速道路で事故が発生した場合の対処法

- ① ハザードランプを付け、車を路肩に移動させ、停止させる
- ② 発炎筒、停止表示器材を車の後方に置く
- ③ 付近の非常電話か携帯電話で、高速道路会社か警察に、  
次のことを通報する  
・事故発生場所（非常電話番号又はキロポストなど）  
・事故状況（事故車両の台数、停止位置、火災の有無など）  
・負傷者状況（負傷者の有無など）
- ④ 通報後は、車の中で待機せず、ガードレールの外に避難する

